

9月10日(火)

神様に喜んでいただく

聖書朗読 ルカ 18:15~17

神の国は、このような者たちのものです。

ルカ 18:16

イエス様はあらゆる人々を愛されました。そのことについて考えたことがありますか？ また、そのことは何を意味しているのでしょうか？ 私たちが、この俗世界に余りにも包み込まれているので、神様がこの世にすでにある者、またこれから来る者、すべての者に代わって死なれるために、御子、イエス様をお送りくださったことを忘れてしまっているというのが、現実ではないでしょうか？

イエス様の弟子たちは、イエス様のみことばを聞きながら3年過ごし、人々に対するイエス様のあわれみをつぶさに見てきたにもかかわらず、イエス様の復活まで、その教えを習得できませんでした。イエス様は、病人を治されたり、足の不自由な人や目の見えない人を癒されたりするために、あるいは、世間が取るに足らないと見下す人たちとお話になるために、時間を費やされました。

今日の聖句で、イエス様は、あらゆる人が大切であることを、弟子たちに示されました。それを明らかにされるために、イエス様のもとに来ようとする子どもたちを止めてはいけなと、弟子たちに言われました。イエス様は、純粋な信頼の例として、また、イエス様に従うすべての者が持つべき誠実さの例として、子どもたちをお用いになられました。

今日、あなたの生活の中で、このような純粋な信頼の態度がありましたか？ あらゆる人々がイエス様と出会う必要があることを信じていますか？ そして、イエス様のもとに来ようとしている人たちを止める障害をどこそうとしていますか？

讃美歌 460

祈り 親愛なる主よ。子どものような無垢な信仰をもって、人々があなたのもとに来ることを、あなたが喜ばれるということのみことばから学びます。自分が、人々があなたの愛を知るのを助けることに用いられる道具となることができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

モーリス・S・デイヴィス
テキサス州 シュガーランド

9月11日(水)

待つこと、それは希望の時間です

聖書朗読 哀歌 3:19~26

主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。
IIペテロ 3:9

「その間に」という言葉は、起こるべき何かを待っているときに、よく使われます。そして、皮肉にも、ときどき起こるべきことが起こらずに、本当に、イヤな時間になってしまうことがあります。

エレミヤは、哀歌第3章を次のように語りながら始めています。『私は主の激しい怒りのむちを受けて悩みに会った者。主は私を連れ去って、光のないやみを歩ませ、御手をもって一日中、くり返して私を攻めた。』そして、エレミヤが耐え忍んでいる苦しみの記述は、さらにひどくなっていきます。

エレミヤのように、次から次へと起こる災難と喪失のために、再び幸せになれるかどうか、わからなくなることはありますか？ 絶望の只中であって、このような希望の言葉を読むことは、大きな驚きです。

『私たちが滅びうせなかったのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ。それは朝ごとに新しい。「あなたの真実力は強い。主こそ、私の受ける分です」と私のたましいは言う。それゆえ、私は主を待ち望む。』(哀歌 3:22~24)。

主にお仕えするということは、定義上、神様のお約束や、それが生む期待に矛盾する時です。神様が、矛盾や障害を解決して下さるのを待ち望むとき、私たちは、神様のご性質と御力に基づく希望を持って、待っているのです。

讃美歌 365

祈り お父様。私たちはあなたにお仕えします。あなたは、私たちにも、他の人たちにも、約束を守られるお方であることを覚えます。私たちは、あなたのお約束をくり返し覚えます。あなたは、すべてのことを良く働かせてくださいます。

イエス様の御名において。アーメン。

スティーブ・ステュアート
ニューメキシコ州 グランツ

9月12日(木)

御 恵 み

聖書朗読 ヨハネ 14:15~21

あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなた方に宿っておられることを知らないのですか。
Iコリント 3:16

週半ばの感謝の礼拝で、伝道者は、とうもろこしの種がたくさん入ったガラスのボウルを私たちに回しました。伝道者は、私たちそれぞれが、そのとうもろこし種を取り、それが表す御恵みについて考え、そのことについて話すようにおっしゃいました。

とうもろこしの種を手にしたとき、過去にいただいた多くの御恵みが、走馬灯のように思い起こされました。どれをお話したらいいでしょう。突然、「そうだ、それはエネルギーだ!」という思いが浮かびました。主が、私にお命じになったことをするエネルギーです。

私が話す番が回ってきました。「神様からいただいている恵みのひとつは、エネルギーです。主が与えてくださるエネルギーがあるからこそ、主のご栄光をたたえることができるのだと思います」と私は話しました。

数日後、その礼拝に出席していたひとりの女性が、私を訪ねて来ました。そして、エネルギーが与えられるように、私が食事をどのように変えたかを尋ねました。神様が私に与えてくださっているエネルギーが、彼女にはよくわかっていないのだと思いました。私のうちにある御霊が、私の活動を促し、強さを与えてくださるのです。

「聖霊を信じます」と言うことは、
人間一人ひとりのうちにお入りになり、
その人を変えることがおできになり、
またすすんでそうしてくださる生ける神様の存在を、
私たちが信じているということの意味するのです。

———— J・B・フィリップス

讃美歌 399

祈り 親愛なる主よ。みこころを行なうように努めるようにしてくださる聖霊の御力を感謝します。今日、私がすることのすべてが、あなたにご栄光を帰することができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ウジェニア・キザー
バージニア州 アーリントン

9月13日(金)

イエス様の偉大さを知る

聖書朗読 マタイ 3:7~17

私はその方のはきものを脱がせてあげる値打ちもありません。
マタイ 3:11

バプテスマのヨハネは、力強い伝道者です。彼は、当時の宗教的指導者に向かって、真理を大胆に宣べ伝えました(マタイ3:7~12)。多くの人が、ヨハネの「悔い改めなさい」という呼びかけによって、神様に立ち返りました(マルコ1:5)。彼は、ひるむことなくヘロデ王の罪を非難し、その結果、自分の命を代償としました。イエス様は、バプテスマのヨハネはもっともすぐれた人であったとおっしゃいました(ヨハネ11:11)。

しかし、ヨハネは自分の人生の目的は、ある方を高く上げることにあるということをおぼえ謙虚さをもっていました。彼が成し遂げたすべてのこと、弟子たちからの献身、彼に与えられた賛辞といったことにもかかわらず、ヨハネは自分の使命は、あとから来られる方、すなわち、神の子であられるイエス・キリストにご栄光を帰することだと理解していました。

ヨハネのお手本にならしましょう。イエス・キリストが、真にどなたでいらっしゃるのかを理解し、神のひとり子であられることを覚えましょう。使徒パウロは、ピリピ人への手紙の2章9節でこのように書いています。『神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。』と。さらに、パウロは、イエス様の御名によって『すべてが、ひざをかがめ、すべての口が「イエス・キリストは主である。」と告白』するためであると書いています。いつの日にか、必ず、すべての人が、イエス様が真実、どのような方であるかを知ることになります。今すぐ、イエス様がどなたであるかを知りましょう。

聖歌 713

祈り 親愛なる主よ。イエス・キリストが真実、どなたであるかを知ることができますように助けてください。御子を賛美し、あらゆることでイエス様にならう者となるよう努めることであなたのご栄光をたたえることができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ロバート・P・リー
コロラド州 デンバー

9月14日(土)

お金では買えない輝き

聖書朗読 マタイ 5:13~16

このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

マタイ 5:16

商店街を歩いていると、宝石店のガラスケースにどうしても目が留まってしまいます。ダイヤモンドなどの高価な宝石がもつ美しさと輝きには、本当にうっとりさせられます。宝石のきらめきは、感嘆に値しますよね。

これらの石は採掘されたときは、他の石と大して変わりのない普通の見た目ですが、宝石の研磨職人の手によって、本来の輝きがあらわれます。研磨職人の仕事のやりがいは、ただ一つです。それは石からあらゆる輝きを引き出すことであり、石の輝きは、研磨職人の腕の見せどころです。

ダイヤモンドなどの高価な宝石は、あらゆる面が輝きを放つように、特別な光の下に宝石商によって陳列されます。でも、光のないケースの外に出すと、輝きのいくつかは消えてしまいます。そして、真っ暗な部屋にダイヤモンドを持って行くと、輝きは完全に消えてしまいます。ダイヤモンドが輝くためには、光が必要なのです。

さらに、ダイヤモンドが輝きを放つためには、キレイに磨かれなくてはなりません。ダイヤモンドに手垢や汚れがあると、本来の輝きを見ることはできません。

私たちはみんな、神様がお造りになった傑作です。イエス様が、私たちを清めてくださるとき、イエス様の光によって私たちは輝きます。そして、造り主のおそばに近づくほど、より多くの人たちが、私たちのうちにイエス様の美しさを見ることができるようです。

聖歌 673

祈り 光とすべての美しさであられる神様。イエス様という光に私たちを導いてくださる聖霊をくださり、ありがとうございます。イエス様により、私たちはあなたの永遠のお約束と、あなたの御目において全き者となる赦しをお受けします。

イエス様の御名を通してお祈りします。アーメン。

カレン・ガウアー

テネシー州 キングストーン

9月15日(日)

応答と服従

聖書朗読 イザヤ書 6:1~8

あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

Ⅱペテロ 3:9

神様は、イザヤに「不可能な使命」と思えるような試練をお与えになります。その使命とは、イスラエルの民に神様に対する彼らの不従順を告げることです。神様は、イザヤが伝えるメッセージが、不信仰と自分の目で見、自分の耳で聞き、自分の心で悟り、立ち返って、いやされることがないことをもたらすと、イザヤに警告していらっしゃいます。

イザヤは『ここに、私がおります。私を遣わしてください』と霊的な激しさをもって答えます。イザヤの言葉は、私たちへのテレフォンカードです。イザヤはすすんで神様に従いました。彼はどんなに大変な能力が求められることでも、神様のご命令ならすすんで従いました。イザヤは、真実ではありますが、困難なメッセージをイスラエルの民に伝えました。

神様は哀れみ深いお父様であり、一人もつまづくことがなく、すべての人が悔い改めることを望んでおられます。神様とイザヤの会話は、大いなる希望で終わっています。不信仰の森は切り倒されても、残るものがあると、聖なる切り株は残り、育つと神様がイザヤに語られています。

イザヤ書6章は、私たちと与えられことでもあります。私たちは、神様の試練を受け入れ、福音を宣言しますか？ みことばに従うことは、神様を信じる者の使命です。容易な使命ではありませんが、大きな価値があります。今日、神様が私たちにお求めになる使命がどんなものであろうとも、「ここに、私がおります。私を遣わしてください」と答えましょう。

キリストがいないすべてのいのちが、宣教の対象です。

キリストともにあるすべてのいのちが、宣教師です。

——— 作者不明

讃美歌 294

祈り 親愛なる主よ。私たちに指示を与えてくださるよう、あなたをご信頼しています。あなたが求められる所ならどこへでも、私たちをお遣わしてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ビル・ティーン

テキサス州 アビリン